



## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	社会福祉法人一麦会ソーシャルファームもぎたて
住所	和歌山県紀の川市平野927
電話番号	0736-75-4603

事業所番号	3011700642
管理者名	中原 力哉
対象年度	2020年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：紀ノ川農協産直「ふうの丘」、ソーシャルファームもぎたて加工場</p> <p>実施日程：（製造開始）2020年度4月～5月、（販売）2020年度5月～</p> <p>実施した生産活動：和歌山県ブランド米「天野米」のパフ菓子加工及び販売</p> <p>従事した美利用者数：6名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>成果物 &lt;実際の商品販売時の様子&gt;</p> <p>写真右) 天野米を使用した黒糖お米パフ レジのすぐ横に陳列していただいた。</p> <p>写真下) 和歌山らしい梅味の玄米パフ</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>紀ノ川農協敷地内に事務所と飲食店が立地し、かねてより連携して地域交流を実施してきた。令和2年度は授産活動を通じて障害のある仲間たちが地域活性に貢献することを狙いとした。紀ノ川農協が天野地域の活性化の狙いをもって販売を強化してきた「天野米」を私たちが仕入れ、私たちの強みとする米パフ菓子に加工し、今度は紀ノ川農協の産直「ファーマーズマーケット紀ノ川ふうの丘」で販売する連携活動に取り組んだ。</p> <p>メリットとして紀ノ川農協や、産地にとっては低迷する米消費に新しいアイデアが具体的に提供される。また障害者の仲間にとっては、身近な風の丘で自分たちの生産活動によって生まれたお菓子を出荷し、売れ行きを具体的に见れることが誇りになる。</p>	<p>&lt;活動内容の追加コメント&gt;</p> <p>黒糖の味付けは、黒糖の産地によってその方法が変化する。沖縄産の濃い黒糖味と風味を損なわずに味付けをするために、試行錯誤を繰り返しています。</p> 
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>今回の活動を通じて、障害のある仲間たちの加工技術や今までにないお菓子ができたことで、米産地の農家さんや、紀ノ川農協の売り場内にも評価が伝わり、積極的な販売に取り組んでもらえた。仲間にとっては自分たちが加工した商品を実際に出荷し、売れゆきを目の当たりにすることで自分たちの技術に自身や誇りを覚えることができた。こうした自信を経て、さらなる加工産品を現場で表現しようと活発に意見交換することができるようになった。ふうの丘では定番商品として通年陳列させてもらっている。</p> <p>課題としては、携わったメンバーが農産加工部の仲間に限られたことが挙げられる。今後は、飲食部門や農業部門においても地域の方々や携わり、自らの仕事を覚えてもらえる経験ができるように支援していきたい。</p>	 

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>今回、ソーシャルファームもぎたてさんからパフ菓子を提案してもらったことでお米に新しい付加価値が生まれました。私たちは持続可能な開発目標の考え方で環境保全農業を推進し、耕作放棄地の再生も行ってきましたが、農業の担い手育成は喫緊の重要課題で、まず私どもとしては直売所の活性化はずっと取り組んでいかなければならないことの一つです。</p> <p>そんな中、評価できることは以下2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいお菓子の登場で、直売所が活気づき、ふうの丘の売り上げ増につながる</li> <li>・天野米をはじめとして米生産高は下がっているの、お米の新しい利用は組合員さんにこんなこともできるんだ！アイデアの助けになること</li> </ul> <p>今後のさらなる連携強化に向けた課題としては、有機農業実践のグループとして農業と福祉のますますの深化した連携のためにお互いの課題だけでなく、未来社会について共有する機会をつくり、頑張ることができたらいいのではないでしょう</p>			
--	--	--	--

連携先企業名	紀ノ川農業協同組合	担当者名	組合長 宇田 篤弘
--------	-----------	------	-----------